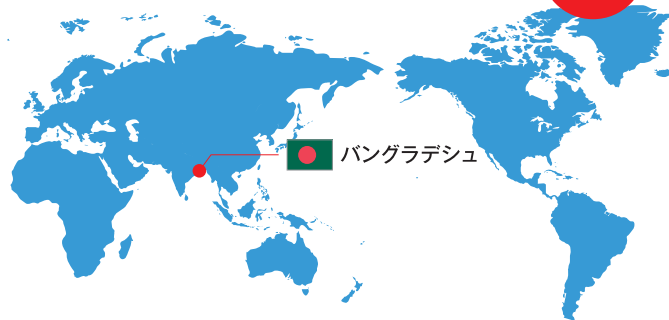


開発途上国の課題解決で ビジネスチャンスをつかむ



岐阜県



バングラデシュ

焼かないエコレンガ技術をバングラデシュに広める



原料は洪水汚泥 特殊な固化技術でレンガに

当社の「無焼成エコレンガ」は下水道汚泥焼却灰や窯業廃土といった廃棄物を原材料に、焼かずに特殊固化技術で作るレンガです。

海外では住宅に多くのレンガが使用されています。とくにアジアでは急激な経済成長に伴う建設ラッシュで、世界の約7割のレンガが生産されています。一般的なレンガの製造は田畑の下の粘土層を掘り起こし、窯で焼き固めます。この過程で多くのCO2を排出するため、エコレンガのビジネス性を感じました。

2012年にJICAの事業に採択され、バングラデシュで現地調査を開始しました。バングラデシュは雨季に国土の半分が沈む「洪水の国」。居住できる土地は乏しく、人口密度は世界一の水準です。にもかかわらずレンガを焼くために土地をどんどん削っている状況でした。

産業が発展していないバングラデシュではエコレンガの原材料となる廃棄物が乏しかったため、川の氾濫で生まれる大量の汚泥を原材料にすることにしました。

工場稼働まで険しい道のり パートナーに恵まれ事業完遂

ただ、事業はスムーズには運びませんでした。一番頭を悩ませたのは、日本のビジネスの常識が通用しないこと。エコレンガの製造方法を習得すれば土地を削らず、大気汚染防止、労働環境改善につながります。産業として隣国への輸出の可能性も広がります。しかし、こういった考えは現地の人には理解してもらえませんでした。

採択から現地工場の稼働まで、実に7年の歳月が必要でした。首都ダッカのテロの影響もあり、険しい道のりでした。規模の小さな会社が海外で事業を進めるには資金以外にも多くのハードルがあります。プロジェクトを完遂できたのは、JICAや優秀なコンサルタントなどパートナーに恵まれたことが大きい。

グローバル化を担う若い経営者にも海外に挑戦して欲しいと思います。苦労が多い半面、その経験は様々な場面で生きてくるはずです。


JICA事業で目指す
SDGs GOALS


亀井製陶株式会社

岐阜県多治見市笠原町1258番地

代表取締役 亀井 宏明さん

お問い合わせ先

JICA(ジャイカ)中部
企業連携課

☎052-533-1387(直通)

✉cbictps@jica.go.jp